

事務事業名	文化財保護費										担当課	部課名	生涯学習部郷土歴史課			
												新部課名				
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	01	細目	006	説明	01	課等の長	田代 俊之	電話	5313

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 35 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	義務的自治事務		
事業概要	文化財保護の推進を図るため、文化財の調査・研究、保存・管理の指導及び補助、普及・活用事業の実施、また開発に伴う埋蔵文化財の調査・資料整理などを実施した。						
対象	1. 個人	市民				435,121 人	
根拠法令等	法律等	文化財保護法、文化芸術振興基本法、地方教育行政の組織及び運営に関する法律					
事業実施内容	江島神社の江嶋縁起絵巻、辻堂諏訪神社の人形山車に対し藤沢市指定重要文化財等修理等補助金を交付。木造八臂弁財天坐像・木造妙音弁財天坐像他3件の文化財説明板等の新設及び修繕。埋蔵文化財包蔵地内における土木工事計画に基づき、確認調査を58件(うち国庫補助対象は44件)実施し、埋蔵文化財の取り扱いについて指導した。						
事業実施手法(該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先 : 有限会社 吾妻考古学研究所) (委託等内容 : 埋蔵文化財の確認調査等) <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 (補助金 : 江島神社の江嶋縁起絵巻, 辻堂諏訪神社の人形山車) <input type="checkbox"/> その他 ()						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R2年度 支出済額 25,553 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		委託料	17,297 千円	埋蔵文化財確認調査等作業業務委託
		負担金補助及び交付金	5,210 千円	市指定文化財修理等補助金
		需用費	1,377 千円	文化財説明版修繕、発掘調査報告書印刷製本等
		報償費	830 千円	文化財保護推進員協力謝礼等
		その他	839 千円	報酬、旅費、役務費、使用料及び賃借料
財源内訳	R2年度 支出済額 25,553 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金	3,638 千円	
		県支出金	1,096 千円	
		その他 ()		
一般財源	20,819 千円			

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和2年度
常時勤務職員※	5.38人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	5.38人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	2.00人

4. コスト分析

年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
コスト 支出	行政費用 A	69,744	83,210	71,893	82,241			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	69,776	80,255	76,411	78,330			
	事業費(支出済額)	25,616	24,425	24,557	25,553			
	償還金利子	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	44,160	55,830	51,854	52,777			
	①常時勤務職員等の給与等	37,017	50,812	44,520	44,008			
	②会計年度任用職員の報酬等	5,393	2,696	5,393	6,291			
	③退職金相当額	1,750	2,322	1,941	2,478			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-32	2,955	-4,518	3,911			
	①減価償却費	243	243	243	243			
	②退職給与引当金繰入額	-275	2,712	-4,761	3,668			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
	④その他 ()	0	0	0	0			
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	163.14	427,501	193.82	429,317	166.01	433,060	189.01	435,121

成果実績	指標名	国・県・市指定重要文化財の件数	目標	99	単位 件	101	単位 件	105	単位 件	106	単位 件
			実績	99	単位 件	101	単位 件	105	単位 件	106	単位 件
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由										
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			704,484.85	823,861.39	684,695.24	775,858.49					

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1) 令和2年度末時点の課題	開発行為や相続等で失われていく文化財がある。
(2) 課題解決のための今後の取組	既知の文化財に限らず広く情報を収集し、早めに所有者等と調整することで、適切な対応を考えていく。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	文化財の調査・研究、保存・管理の指導及び補助、普及・活用事業の実施、並びに開発に伴う埋蔵文化財の調査・資料整理を実施することにより、文化財の保護を推進することができた。	
	事業の方向性	現状維持
今後の方針	各種事業を継続して行い、文化財の保護と普及及びその活用を図り、より多くの文化資産の次世代への継承に努める。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
1	文化財保護委員会に関すること	無	無	1	3
2	文化財・郷土資料の調査に関すること	無	無	1	1
3	文化財の指定に関すること(国・県・市)	無	無	1	2
4	文化財の登録に関すること(国)	無	無	1	2
5	文化財情報の提供に関すること	無	無	1	
6	市指定文化財管理奨励交付金に関すること	無	無	1	3
7	市指定重要文化財等修理等補助金に関すること	無	無	1	3
8	国・県指定史跡定期現状確認調査に関すること	無	無	1	
9	県指定史跡名勝「江ノ島」の現状変更に関すること	無	無	1	
10	指定文化財の現状変更等に関すること	無	無	1	
11	特定開発条例に基づく照会に関すること	無	無	2	3
12	文化財保護推進員に関すること	無	無	1	
13	文化財標柱・説明板に関すること	無	無	1	
14	文化財調査報告書の刊行に関すること	無	無		1

15	文化財等の賃貸借契約・支払に関する事	無	無	1	1
16	埋蔵文化財の周知・照会に関する事	無	無	1	3
17	埋蔵文化財に関する指導・助言・連絡調整に関する事	無	無	1	1
18	埋蔵文化財確認調査等に関する事	無	無	2	1
19	文化財保護法(埋蔵文化財関係)に基づく届出等に関する事	無	無	1	1
20	埋蔵文化財国庫補助事務に関する事	無	無	1	1
22	遺跡調査速報展等展示公開に関する事	無	無		
23	埋蔵文化財(出土品)の整理・調査報告書の刊行等に関する事	無	無		3
24	寄贈図書等の整理・保管に関する事	無	無		1
25	旧モーガン邸に関する事	無	無	1	3
26	有償頒布物の販売に関する事	無	無	1	1
28	相模ささら踊り大会に関する事(本市が当番)	無	無	1	1
29	相模ささら踊り大会に関する事(他市が当番)	無	無	1	1
30	地名の研究に関する事	無	無	1	1

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満, レベル2は10%以上30%未満, レベル3は30%以上。
 ※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響, レベル2は部内への影響, レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2021/8/10
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	埋蔵文化財包蔵地資料整備費										担当課	部課名	生涯学習部郷土歴史課			
												新部課名				
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	01	細目	006	説明	02	課等の長	田代 俊之	電話	5313

1. 事業概要

事業開始年度	平成 17 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	法定受託事務		
事業概要	埋蔵文化財に関する資料を収集・整理し、公的資料として公開可能なものとするための整理作業を行った。						
対象	1. 個人	市民				435,121 人	
根拠法令等	法律等	文化財保護法, 地方教育行政の組織及び運営に関する法律, 文化芸術振興基本法					
事業実施内容	確認調査による出土遺物32点の実測図の作成と, 4点の接合を行った。						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委 託 先 : 有限会社 吾妻考古学研究所 横須賀調査室) (委 託 等 内 容 : 出土遺物の実測, 拓本, 重量計測, 土器接合の整理) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 ()						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R2年度 支出済額 800 千円	事業費節別内訳		
		費 目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		委託料	800 千円	出土遺物の実測, 拓本, 重量計測, 土器接合の整理
財源内訳	R2年度 支出済額 800 千円	事業費節別財源内訳		
		費 目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 ()		
一般財源	800 千円			

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和2年度
常時勤務職員※	0.24人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	0.24人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み,会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	0.00人

4. コスト分析

年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
コスト 支出	行政費用 A	4,423	3,404	2,674	3,140			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	4,323	2,998	2,943	2,990			
	事業費(支出済額)	1,998	300	800	800			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	2,325	2,698	2,143	2,190			
	①常時勤務職員等の給与等	2,262	2,567	2,033	2,060			
	②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0			
	③退職金相当額	63	131	110	130			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	100	406	-269	150			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	100	406	-269	150			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
	④その他 ()	0	0	0	0			
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	10.35	427,501	7.93	429,317	6.17	433,060	7.22	435,121

成果実績	指標名	実測図等作成点数	目標	75	単位 点	6	単位 点	83	単位 点	36	単位 点	
			実績	75	単位 点	6	単位 点	83	単位 点	36	単位 点	
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由											
	実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		58,973.33	567,333.33	32,216.87	87,222.22						

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1) 令和2年度末時点の課題	出土遺物の点数が年度によって異なるため、当該年度内に整理が必要な資料すべてを完了させることが困難である。
(2) 課題解決のための今後の取組	前年度の確認調査の実施状況及び未整理の出土遺物量を勘案して、極力平準化するよう計画的に事業を進める。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	埋蔵文化財包蔵地から出土した資料を適切に整理し、公的資料として公開するために、報告書にまとめる準備ができた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	今後も埋蔵文化財包蔵地から出土した資料を順次整理し、報告書にまとめて公開していく。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
21	埋蔵文化財包蔵地資料整備事業に関すること	無	無	1	1

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満, レベル2は10%以上30%未満, レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響, レベル2は部内への影響, レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2021/8/10
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	歴史的建造物維持活用費										担当課	部課名	生涯学習部郷土歴史課			
												新部課名				
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	01	細目	006	説明	03	課等の長	田代 俊之	電話	5313

1. 事業概要

事業開始年度	平成 23 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	市民が文化財に触れる機会を拡充し、郷土に対する理解と愛着を深めるため、歴史的建造物「旧三髯八郎右衛門家住宅」を賃貸借し、公開及び記録・保存に係る調査等を行った。						
対象	1. 個人	市民					435,121 人
根拠法令等	法律等	文化財保護法, 文化芸術振興基本法, 地方教育行政の組織及び運営に関する法律					
事業実施内容	旧三髯八郎右衛門家住宅について、地域団体と協働で市民に公開するとともに、その記録を後世に残すための調査を実施した。						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先 : 明治郷土史料室運営委員会) (委託等内容 : 旧三髯八郎右衛門家住宅の公開従事) <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 (負担金 : 旧三髯八郎右衛門家住宅の所有者) <input type="checkbox"/> その他 ()						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R2年度 支出済額 979 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		報償費	160 千円	歴史的建造物に係る調査謝礼等
		需用費	72 千円	消耗品等
		委託料	89 千円	旧三髯八郎右衛門家住宅の公開従事業務委託
		使用料及び手数料	468 千円	旧三髯八郎右衛門家住宅土地, 建物の賃借料
		負担金補助及び交付金	190 千円	旧三髯八郎右衛門家住宅維持管理負担金
財源内訳	R2年度 支出済額 979 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 ()		
		一般財源	979 千円	

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和2年度
常時勤務職員※	0.27人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	0.27人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み,会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	0.00人

4. コスト分析

年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
コスト 支出	行政費用 A	6,701	7,985	4,124	3,074			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	8,000	8,022	4,091	3,377			
	事業費(支出済額)	4,471	4,578	570	979			
	償還金利子	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	3,529	3,444	3,521	2,398			
	①常時勤務職員等の給与等	3,377	3,284	3,319	2,263			
	②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0			
	③退職金相当額	152	160	202	135			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-1,299	-37	33	-303			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	-1,299	-37	33	-303			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他 ()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	15.67	427,501	18.60	429,317	9.52	433,060	7.06	435,121

成果実績	指標名	旧三觜八郎右衛門家住宅来場者数	目標	1,500	単位	1,500	単位	0	単位	750	単位
			実績	1,414	単位	1,627	単位	0	単位	159	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由										
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		4,739.04		4,907.81		-		19,333.33			

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1) 令和2年度末時点の課題	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、旧三觜八郎右衛門家住宅の公開を中止した期間があり、令和3年度についても、一定期間公開中止とせざるを得ない場合がある。公開終了時期については、所有者及び地域と調整を図る必要がある。
(2) 課題解決のための今後の取組	公開活用を1日でも長く実施できるよう、所有者及び地域市民団体と協議するとともに、建物そのものに加え建具等の調査も進めて記録保存を推進する。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	歴史的建造物「旧三觜八郎右衛門家住宅」を賃貸借して、保存・公開・活用の事業を実施し、市民が文化財にふれる機会を増やすことができた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	所有者による周囲の宅地造成工事が進んでいるが、公開終了時期については所有者及び地域と協議のうえ定め、それまでの間公開を継続する。合わせて後世に記録として残すために必要な調査を行う。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
15	文化財等の賃貸借契約・支払に関すること	無	無	1	1

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満、レベル2は10%以上30%未満、レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響、レベル2は部内への影響、レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2021/8/10
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	ふじさわ宿交流館運営管理費										担当課	部課名	生涯学習部郷土歴史課			
												新部課名				
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	01	細目	007	説明	01	課等の長	田代 俊之	電話	6731

1. 事業概要

事業開始年度	平成 25 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	旧東海道藤沢宿周辺地区において、歴史的まちづくりの拠点施設であるふじさわ宿交流館の管理・運営を行い、市民が郷土愛を育み、郷土の歴史・文化に触れる機会を拡充した。						
対象	1. 個人	市民				435,121	人
根拠法令等	条例(市)	ふじさわ宿交流館条例, ふじさわ宿交流館条例施行規則					
事業実施内容	ふじさわ宿交流館の運営管理及びふじさわ宿交流館指定管理者である(公社)藤沢市観光協会による事業の実施						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (指定管理者 : (公社)藤沢市観光協会) (委託等内容 : ふじさわ宿交流館の運営管理) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 ()						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R2年度 支出済額 30,313 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		委託料	29,679 千円	ふじさわ宿交流館指定管理料, 警備委託料
		使用料及び賃借料	244 千円	パソコン機器等賃借料, ビジネスホン賃借料
		需用費 報償費	119 千円 271 千円	消耗品費 報償金
財源内訳	R2年度 支出済額 30,313 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 (使用料)	243 千円	
一般財源	30,070 千円			

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和2年度
常時勤務職員※	0.68人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	0.68人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み,会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	0.00人

4. コスト分析

コスト 支出	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
	行政費用 A	0	48,722	41,099	38,680			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	0	39,816	36,344	36,612			
	事業費(支出済額)		30,068	29,858	30,313			
	償還金利息		112	103	94			
	人件費合計(①+②+③)	0	9,636	6,383	6,205			
	①常時勤務職員等の給与等		9,167	6,025	5,837			
	②会計年度任用職員の報酬等		0	0	0			
	③退職金相当額		469	358	368			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	0	8,906	4,755	2,068			
	①減価償却費		5,894	5,894	1,889			
	②退職給与引当金繰入額		3,012	-1,139	179			
	③不納欠損額		0	0	0			
④その他()		0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	0.00	427,501	113.49	429,317	94.90	433,060	88.89	435,121

成果実績	指標名	ふじさわ宿交流館の来館者数	目標	-	単位	26,000	単位	26,000	単位	26,000	単位	人
			実績	-	単位	30,022	単位	35,494	単位	16,100	単位	人
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由											
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			-	1,622.88	1,157.91	2,402.48						

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1) 令和2年度末時点の課題	新型コロナウイルス感染症対策と、開館・イベント実施の両立に取り組む必要がある。
(2) 課題解決のための今後の取組	新型コロナウイルス感染症対策を行ったうえで、事業やイベントを実施する。YouTube等のSNSを活用し、藤沢宿のPRを行う。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	新型コロナウイルスの感染拡大・緊急事態宣言によるイベント中止により、市民が郷土の歴史・文化に触れる機会を十分に確保することができなかった。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	平成31年度から5年間について、引き続き指定管理者を(公社)藤沢市観光協会とし、ふじさわ宿交流館の運営管理を行う。また、藤沢の歴史や文化に市民が触れられる環境を整備するとともに、藤沢の歴史・文化の発信を進めていく。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
47	ふじさわ宿交流館指定管理者との連絡調整に関すること	無	無	1	3

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満、レベル2は10%以上30%未満、レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響、レベル2は部内への影響、レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2021/8/10
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	歴史資料公開活用費										担当課	部課名	生涯学習部郷土歴史課			
												新部課名				
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	01	細目	008	説明	01	課等の長	田代 俊之	電話	6731

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 62 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	藤沢の歴史に関する調査研究の成果や収集資料を展示公開するとともに、講座・刊行物・ホームページ等により、歴史に関する学習機会の確保や情報提供を行った。						
対象	1. 個人	市民				435,121 人	
根拠法令等	法律等	文化財保護法・博物館法					
事業実施内容	1 歴史資料展示公開事業として、市民ギャラリーでの資料紹介展・企画展を開催し、合計19,567人が入場した。 2 学習支援・情報提供事業として、地域団体や公民館等との共催で地域の要望に合わせた講座を実施し、424人が参加した。また、小学生のための郷土資料講座として、小学校へ向うて学習指導要領に合わせた授業を実施し、延べ19校、2,058人の児童が受講した。 3 「電子博物館みゆネットふじさわ」による藤沢の郷土資料等の情報提供し、108,383回のページビューがあった。						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先 : 株式会社エイエイピー横浜支店) (委託等内容 : 電子博物館「みゆネットふじさわ」及び藤澤浮世絵館ホームページの改修・運営管理) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 ()						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R2年度 支出済額 2,333 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		委託料	1,137 千円	電子博物館「みゆネットふじさわ」及び藤澤浮世絵館ホームページの改修・運営管理
		需用費	582 千円	消耗品, 展示パネル, 小学校講座資料印刷費ほか
		使用料及び賃借料	330 千円	電子博物館「みゆネットふじさわ」及び藤澤浮世絵館ホームページのサーバ等使用料
		報償費	170 千円	資料展示・調査指導助言ほか
役務費	114 千円	郷土歴史資料デジタル化		
財源内訳	R2年度 支出済額 2,333 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
その他 ()				
一般財源	2,333 千円			

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和2年度
常時勤務職員※	2.61人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	2.61人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	1.00人

4. コスト分析

年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
コスト 支出	行政費用 A	30,959	16,798	27,155	28,308			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	30,320	20,522	25,843	26,958			
	事業費(支出済額)	3,346	4,388	2,858	2,333			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	26,974	16,134	22,985	24,625			
	①常時勤務職員等の給与等	25,770	15,407	21,841	21,915			
	②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	1,395			
	③退職金相当額	1,204	727	1,144	1,315			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	639	-3,724	1,312	1,350			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	639	-3,724	1,312	1,350			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
	④その他 ()	0	0	0	0			
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	72.42	427,501	39.13	429,317	62.70	433,060	65.06	435,121

成果実績	指標名	市民ギャラリー等における展示会入場者数・歴史講座等参加者数、小学生のための郷土資料講座参加者数	目標	18,500	単位 人	18,500	単位 人	18,500	単位 人	18,500	単位 人
		実績	15,590	単位 人	16,439	単位 人	62,905	単位 人	22,049	単位 人	
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由										
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		1,985.82		1,021.84		431.68		1,283.87			

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1) 令和2年度末時点の課題	常設展示室での展示実施については、南市民図書館と連携して事業を進める必要がある。また、電子博物館「みゆネットふじさわ」については、さらなるコンテンツの充実と積極的な周知が必要である。
(2) 課題解決のための今後の取組	常設展示室の展示企画にあたり、図書館職員の参画を図る。また、電子博物館「みゆネットふじさわ」については、映像や画像を活用し、より魅力的なサイトになるように工夫する。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	新型コロナウイルス感染症対策のため、予定されていた事業の多くが中止となったが、電子博物館「みゆネットふじさわ」のページビューは飛躍的に増加したことから、歴史に関する学習機会の確保や情報提供を図ることができた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	コロナ禍における展示・講座等の開催方法の研究を進めるとともに、電子博物館「みゆネットふじさわ」のコンテンツをさらに充実することで、市民の歴史・文化に関する学習機会の確保並びに情報提供を推進し、多くの方の歴史・文化に対する関心を高めていく。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
22	遺跡調査速報展等展示公開に関する事	無	無		
31	「電子博物館みゆネットふじさわ」の運用に関する事	無	無	3	3
32	歴史資料の展示公開に関する事	無	無	3	3
33	講座・講演会の実施に関する事	無	無	3	3
35	小学生のための郷土資料講座に関する事	無	無	3	1
36	湘南台文化センターこども館における資料展示に関する事	無	無	1	1

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満、レベル2は10%以上30%未満、レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響、レベル2は部内への影響、レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2021/8/10
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	歴史資料関係事務費										担当課	部課名	生涯学習部郷土歴史課			
												新部課名				
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	01	細目	009	説明	01	課等の長	田代 俊之	電話	6731

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 62 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	藤沢の歴史に関する調査研究, 資料収集を進めるとともに, 収集資料の適切な整理保管を行った。						
対象	1. 個人	市民				435,121 人	
根拠法令等	法律等	文化財保護法・博物館法					
事業実施内容	1 考古, 民俗, 歴史, その他の分野の調査, 研究の実施 2 収集資料の整理, 保管及び基礎資料の作成						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先:) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 (:)						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R2年度 支出済額 1,789 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		報償費	760 千円	考古・民俗資料指導助言等謝礼
		需用費	507 千円	考古・民俗資料収納箱, 発掘作業事務用品ほか
		役務費	316 千円	動産保険料
		使用料及び賃借料	175 千円	複写機リース代
その他	31 千円	旅費, 負担金補助及び交付金, 保証補填及び賠償金		
財源内訳	R2年度 支出済額 1,789 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
その他 (雑入)	15 千円			
一般財源	1,774 千円			

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和2年度
常時勤務職員※	1.46人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	1.46人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み,会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	0.00人

4. コスト分析

年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
コスト 支出	行政費用 A	18,445	15,990	17,983	15,499			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	19,178	16,116	17,489	15,112			
	事業費(支出済額)	4,955	3,671	3,789	1,789			
	償還金利子	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	14,223	12,445	13,700	13,323			
	①常時勤務職員等の給与等	13,699	11,896	12,932	12,533			
	②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0			
	③退職金相当額	524	549	768	790			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-733	-126	494	387			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	-733	-126	494	387			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他 ()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	43.15	427,501	37.25	429,317	41.53	433,060	35.62	435,121

成果実績	指標名	収蔵資料件数の合計	目標	64,932	単位	64,952	単位	64,966	単位	65,034	単位
			実績	64,932	単位	64,952	単位	64,966	単位	65,034	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由										
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			284.07		246.18		276.81		238.32		

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1) 令和2年度末時点の課題	資料保管施設の老朽化及び資料の適切な保管
(2) 課題解決のための今後の取組	第3次藤沢市施設再整備プランにおける文化財収蔵庫整備の実施

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	藤沢の歴史に関する調査研究、資料収集、整理保管を進めた結果、公開施設並びに保管施設の検討を進めるための収蔵品の整理を行うことができた。	
	事業の方向性	現状維持
今後の方針	藤沢の歴史に関する調査研究、資料収集、整理保管をさらに進めるとともに、公開施設及び保管施設の検討を進める。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
37	歴史資料の受入及び整理保管に関すること	無	無	1	1
38	歴史資料の購入に関すること	無	無	1	
39	収蔵資料の貸出に関すること	無	無	1	3
40	収蔵施設の整理・管理に関すること	無	無	3	1
41	動産保険に関すること	無	無	3	

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満、レベル2は10%以上30%未満、レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響、レベル2は部内への影響、レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2021/8/10
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	保管施設管理費										担当課	部課名	生涯学習部郷土歴史課			
												新部課名				
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	01	細目	009	説明	02	課等の長	田代 俊之	電話	5313

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 62 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	収蔵資料を適切な環境で保管管理できるよう, 収蔵庫の修繕及び必要な点検等を行った。						
対象	1. 個人	市民					435,121 人
根拠法令等	法律等	文化財保護法					
事業実施内容	収蔵資料を適切な環境で保管管理できるよう, 収蔵庫の修繕及び必要な点検等を行った。						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委 託 先 : セコム株式会社・総合警備保障株式会社湘南支社) (委 託 等 内 容 : 収蔵庫(3箇所)の警備業務) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 ()						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R2年度 支出済額 3,593 千円	事業費節別内訳		
		費 目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		需用費	759 千円	収蔵庫修繕, 光熱水費等
		役務費	1,734 千円	消防等設備点検, 樹木剪定等
財源内訳	R2年度 支出済額 3,593 千円	事業費節別財源内訳		
		費 目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
その他 ()				
一般財源	3,593 千円			

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和2年度
常時勤務職員※	1.06 人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00 人工
合計	1.06 人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み, 会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	0.00 人

4. コスト分析

年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
コスト 支出	行政費用 A	28,002	25,753	28,415	29,178			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	12,299	11,179	12,948	13,266			
	事業費(支出済額)	3,116	3,283	3,592	3,593			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	9,183	7,896	9,356	9,673			
	①常時勤務職員等の給与等	8,758	7,544	8,888	9,099			
	②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0			
	③退職金相当額	425	352	468	574			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	15,703	14,574	15,467	15,912			
	①減価償却費	15,436	15,279	15,279	15,161			
	②退職給与引当金繰入額	267	-705	188	751			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他 ()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	65.50	427,501	59.99	429,317	65.61	433,060	67.06	435,121

成果実績	指標名	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
		実績	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		保管管理の適切な維持管理を事務事業としていることから、指標の設定ができない。							
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		-		-		-		-		-

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1) 令和2年度末時点の課題	各収蔵施設が離れているため、日常的な管理が難しい。野生動物や草の繁茂、大雨時の土砂の流出、施設老朽化による雨漏りや空調の故障などの問題発生時の対応に時間を要する。
(2) 課題解決のための今後の取組	新たな収蔵庫の竣工までの間、第一収蔵庫については延命策を講じるとともに、施設の状況を定期的に点検することで、事前に異常個所を把握し、効率的な管理に努める。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	各収蔵施設の老朽化が進む中で、修繕を行いながら施設の機能を維持することができた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	各収蔵施設の老朽化が進んでいるが、公共施設再整備プランにおける新たな収蔵庫の整備を行うとともに、効率的に修繕を行いながら施設の機能を維持し、適切に収集資料の保管管理を行う。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
37	歴史資料の受入及び整理保管に関すること	無	無	1	1
39	収蔵資料の貸出に関すること	無	無	1	3
40	収蔵施設の整理・管理に関すること	無	有	3	1

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満、レベル2は10%以上30%未満、レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響、レベル2は部内への影響、レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2021/8/10
----	-------	----	-------	-----	-----------